

6月定例会

平成19年第2回定例会を6月8日から15日までの8日間開催しました。

今定例会では、一般質問には6人の議員が登壇し、遠野のまちづくり・農林業の振興・環境・中学校再編等多岐にわたり質疑が行われました。

提案された専決処分3件、条例4件、その他2件、予算1件、全10議案を原案のとおり承認・可決しました。

また、最終日には請願5件を採決、議員発議による意見書6件を可決しました。

議案

- 遠野市市税条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて
- 平成18年度遠野市一般会計補正予算(第4号)の専決処分に関し承認を求めることについて
- 平成19年度遠野市老人保健特別会計補正予算(第1号)の専決処分に関し承認を求めることについて
- 遠野市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市民センター条例及び遠野市かしわぎだいら交流施設条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 遠野市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について
- 公の施設の指定管理者の指定について
- 公の施設の指定管理者の指定について
- 平成19年度遠野市一般会計補正予算(第1号)



▲今議会では6人の議員が一般質問を行った

消費者や観光客を吸い込むまちづくり



菊池 民彌 議員

【質問】 遠野まちなか賑わいプロジェクトチームの検討成果は。

【市長】 本年3月報告書をまとめた。その中で、高齢者に住み良く、観光客に魅力あるまちの両方が成り立つまちづくりを目指すとしている。その柱として、駅前再開発、田の字型ネットワークの観光整備、町家文化を活用した施設整備等を図る。

【質問】 中心市街地活性化基本計画の内容は。

【市長】 商工会、遠野テレビ、建築士会の協力の下、これまでのまちづくりのノウハウを活かし、計画策定に取り組んでいる。

【質問】 基本計画の認定を受ける諸条件とメリットは。

【市長】 一定の人口規模を有する都市のみ認定を受けることが出来ると聞いている。今年度中の認定を目指して取り組む。メリットは、集中的、効果的に財政的支援がある。

【その他の質問】 農業振興について。市営住宅の建設について。

かしわぎだいら交流施設の管理運営



菊池 充 議員

【質問】 指定管理者の候補者の選定、2つの第三セクターの経営改革、今後のスケジュール、施設の利用計画について示されたい。

【市長】 指定管理者には、2社から応募があり審査の結果、柏木平レイクリゾート(株)が候補者に選定された。2つの第三セクターのうち(株)宮守プロイハウスは、民間経営のもと

で地ビール醸造に特化し経営の継続を図る。また、上猿ヶ石川観光(株)は、通常株主総会において会社を解散する方向で承諾されたところである。今後のスケジュールは、指定管理業務の円滑な実施、プロイハウスの経営移譲、市民に向けた改革内容の周知、プロイハウスのレストラン部分の早期開業の交渉を重点的に進める。施設の利用計画は、レストランを遠野ビール苑としビールとジンギスカンをメインに来年4月グランドオープンを考えている。他の施設は基本的に従来どおり利用していくが、やな食堂は廃止し、やな場と炭焼き施設は関係団体及び地元の協力を得て有効活用を図る。